

現場説明書

作業名 収穫調査委託

作業場所 山形県西村山郡大江町大字貫見
字古寺山国有林 47 林班か小班外

山形森林管理署

事業実行における説明事項

1. 調査数量等

調査箇所及び調査数量等については、別紙「収穫調査委託箇所の概要」による。

2. 支給材料及び貸与品について

調査に必要な材料については、当署において支給するので、仕様書等に基づき適正な管理に努めること。

なお、材料（貸与品）及び数量は別紙によるが、事情やむをえない場合のみ追加を認める。

3. 国有林地理情報システムの借受けについて

契約締結後は、申請により国有林地理情報システムの地図データ（シェープファイル）、衛星画像の借受けが可能である。

地図情報等の借受け後は責任を持って適正に管理すること。

4. 国有林野情報管理システムの使用について

収穫調査復命書情報の入出力は、受託者が保有するパソコンから行うが、入出力に当たり国有林野情報管理システム利用申請が必要なことから、利用申請書を提出すること。

なお、調査報告書作成に係る作業場所及び作業に当たり必要となる設備、備品及び消耗品等については受託者の責任において用意すること。

5. 調査箇所の境界について

収穫調査箇所の境界は、赤スプレー及びピンクテープ等で明瞭に標示すること。

収穫調査箇所と隣接する小班等の境界に疑義が生じた場合は、すみやかに監督員の指示を仰ぐこと。また、現地での実測結果を基本図上に製図する際に、実測結果が隣接小班等にかん入する場合には、必ず監督職員と協議の上製図すること。

6. 林況調査について

収穫調査箇所は、林内を十分踏査して林分状況に即した標準地を設定し、必要に応じて適切に林相区画（除外地の設定）を行い、より精度の高い調査を行うこと。

また、保護樹帯や帯状複層伐の伐採帯の設定については、必ず監督職員と協議の上決定すること。

7. 添付図面について

現地確認等において不明な点があった際は、監督職員の指示を仰ぐこと。

支 給 材 料 通 知 書

令和8年 月 日

殿

分任物品管理官

山形 森林管理署長 添谷 稔

令和 年 月 日付け 第 号をもって受託契約をしました収穫調査につきまして、下記のとおり材料を支給しますので、約款第8条第2項の規定に基づき受領書を提出してください。

記

1 支給材料の品名等

品 名	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	引 渡 し 場 所
カラスプレー	赤色、1本420cc入り	351	本	山形森林管理署
ガンタッカー用針	1208F、1箱2000本入り	146	箱	
ペイントマーカー	黒色、線幅1.5mm、油性	25	本	
ピンクテープ	軟質ビニール (0.1mm×30mm×100m)	166	巻	
黄テープ	軟質ビニール (0.1mm×30mm×100m)	27	巻	
青テープ	軟質ビニール (0.1mm×30mm×100m)	70	巻	
収測番号札(黄)	軟質塩ビシート (50mm×249.5mm×0.4mm)	4,100	枚	
収測番号札(白)	軟質塩ビシート (50mm×249.5mm×0.4mm)	1,200	枚	
木材チョーク	1箱12本入 色：白色	66	箱	
標準木テープ	耐寒性ビニール (0.15mm×25mm×70m)	5	巻	
ナンバーテープ	耐寒性ビニール (0.15mm×20mm×50m)	146	巻	
立木調査野帳(1)	上質紙 1冊50枚両面綴り	1	冊	
立木調査野帳(2)	上質紙 1冊50枚両面綴り	5	冊	
樹高調査野帳	上質紙 1冊50枚両面綴り	1	冊	
測量野帳	上質紙 1冊50枚両面綴り	1	冊	
収穫調査資料袋	クワフト封筒(85g/m ²) (216.0mm×260.0mm)	368	枚	

担当：主任森林整備官（経営担当）前川

電話：050-3160-5850

収獲調査委託箇所の概要

番号	森林事務所	林名区分	国有林名等	林小班	機能類型	施業群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域面積(ha)	採帯面積(ha)	立木調査面積(ha)	調査材積(m ³)	区域標示距離(km)	通廊距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	抽出関係調査の要否	更新関係調査の要否	蓄積把握の要否	実測作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	品質区分(地上型3Dレーザ計測)	調査区分(地上型3Dレーザ計測)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別
57	幸生	国有林	清水山外1.1	138ろ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	64	カラマツ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	2.74			216	0.44	19	31	否	否	否	否	否				水涵保	138に兼用			製品資材	
58	幸生	国有林	清水山外1.1	138は	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	64	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	3.25			257	0.77	19	37	否	否	否	否	否				水涵保	138に兼用			製品資材	
59	幸生	国有林	清水山外1.1	138に	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	66	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.31	0.10		354	1.32	19	53	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
60	幸生	国有林	清水山外1.1	138ち	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	73	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	0.13			5	0.19	19	64	否	否	否	否	否				水涵保	138り兼用			製品資材	
61	幸生	国有林	清水山外1.1	138り	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	73	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.06	0.05		119	1.20	19	55	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
62	幸生	国有林	清水山外1.1	138た	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	64	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.48	0.10		275	1.19	19	58	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
63	幸生	国有林	清水山外1.1	138そ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	113	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.25	0.05		25	0.33	19	34	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
64	幸生	国有林	清水山外1.1	138つ	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	64	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	0.32			21	0.29	19	35	否	否	否	否	否				水涵保	138た兼用			製品資材	
65	幸生	国有林	清水山外1.1	139ほ2	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	74	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	2.29			292	0.44	16	25	否	否	否	否	否				水涵保	139り兼用			製品資材	
66	幸生	国有林	清水山外1.1	139ち	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	88	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.15			89	0.23	16	51	否	否	否	否	否				水涵保	139り兼用			製品資材	
67	幸生	国有林	清水山外1.1	139り	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	72	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.00	0.05		139	0.53	16	36	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
68	幸生	国有林	清水山外1.1	139ぬ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	92	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	2.97			270	0.00	16	17	否	否	否	否	否				水涵保	139り兼用			製品資材	
69	幸生	国有林	清水山外1.1	139ろ1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	53	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	0.25			30	0.19	16	18	否	否	否	否	否				水涵保	139り兼用			製品資材	
70	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	74	スギ	中	疎	列間(簡標)	50	標準地(簡標)	0.74	0.05		87	0.34	17	47	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
71	幸生	国有林	清水山外1.1	139れ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	58	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.39			93	0.25	17	23	否	否	否	否	否				水涵保	139わ6兼用			製品資材	
72	幸生	国有林	清水山外1.1	139ぞ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	59	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.15	0.10		266	0.62	17	18	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
73	幸生	国有林	清水山外1.1	139ね	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	60	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	0.89			147	0.16	17	11	否	否	否	否	否				水涵保	139わ3兼用			製品資材	
74	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	60	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.00	0.05		92	0.09	17	13	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
75	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ2	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	59	カラマツ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.09	0.05		96	0.28	17	10	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
76	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ3	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	59	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.44	0.05		71	0.35	17	5	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
77	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ4	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	58	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.44	0.05		70	0.14	17	3	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
78	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ5	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	64	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.59	0.10		382	1.47	17	22	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
79	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ6	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	66	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	5.83	0.15		482	0.74	18	41	否	否	否	否	要	0.27			水涵保		3		製品資材	
80	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ7	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	65	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	5.03	0.15		751	1.79	18	8	否	否	否	否	要	0.27			水涵保		3		製品資材	
81	幸生	国有林	清水山外1.1	139わ8	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	66	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.86			160	0.42	18	35	否	否	否	否	否				水涵保	139わ6兼用			製品資材	
82	幸生	国有林	清水山外1.1	139ち	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	71	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	0.55	0.05		169	0.48	18	24	否	否	否	否	要	0.48			水涵保		1		製品資材	
83	幸生	国有林	清水山外1.1	139の	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	66	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.18	0.10		423	1.17	16	39	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
84	幸生	国有林	清水山外1.1	139や	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	53	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	0.47			58	0.27	16	4	否	否	否	否	否				水涵保	139り兼用			製品資材	
85	幸生	国有林	清水山外1.1	140い	水源涵養タイプ	植栽型複層林	人工林	78	スギ	中	疎	複層伐(帯・群)	50	標準地(簡標又は3D-*)	1.04	0.52	0.05	177	0.90	14	6	否	否	否	否	要	0.90	あり(全木)	現地調査	水涵保		1		製品資材	
86	幸生	国有林	清水山外1.1	140ほ	水源涵養タイプ	植栽型複層林	人工林	52	スギ	中	疎	複層伐(帯・群)	50	標準地(簡標又は3D-*)	0.64	0.32	0.05	100	0.51	14	12	否	否	否	否	要	0.51	あり(全木)	現地調査	水涵保		1		製品資材	
87	幸生	国有林	清水山外1.1	140わ	水源涵養タイプ	皆伐	人工林	69	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	3.28	0.10		1,288	0.90	15	21	否	否	否	否	要	0.90			水涵保		2		製品資材	
88	幸生	国有林	清水山外1.1	140か	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	77	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(兼用)	1.50			419	0.49	15	25	否	否	否	否	要	0.49			水涵保	140わ兼用			製品資材	
89	幸生	国有林	清水山外1.1	140わ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	78	カラマツ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	2.09	0.05		525	0.68	16	35	否	否	否	否	要	0.68			水涵保		1		製品資材	
90	幸生	国有林	清水山外1.1	140う	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	77	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(兼用)	1.95			719	0.69	16	29	否	否	否	否	要	0.69			水涵保	140わ兼用			製品資材	
91	幸生	国有林	清水山外1.1	141と	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	88	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.57	0.10		281	1.38	16	13	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
92	幸生	国有林	清水山外1.1	141と1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	91	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	4.11	0.10		1,478	1.39	16	18	否	否	否	否	要	1.39			水涵保		2		製品資材	
93	幸生	国有林	清水山外1.1	141と2	水源涵養タイプ	皆伐	人工林	91	アカマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.90	0.05		214	0.83	16	33	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
94	幸生	国有林	清水山外1.1	141り	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	71	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.96	0.05		139	0.44	16	27	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
95	幸生	国有林	清水山外1.1	141る	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	40	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.65	0.10		199	0.76	16	40	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
96	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	39	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.30			55	0.29	16	18	否	否	否	否	否				水涵保	141る兼用			製品資材	
97	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ3	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	38	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	0.31			44	0.16	16	12	否	否	否	否	否				水涵保	141る兼用			製品資材	
98	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ5	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	41	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.42			186	0.47	16	14	否	否	否	否	否				水涵保	141る兼用			製品資材	
99	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ6	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	40	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.20			160	0.48	16	25	否	否	否	否	否				水涵保	141る兼用			製品資材	
100	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ7	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	102	カラマツ	中	疎	複層伐(天)	50	標準地(簡標)	3.55	0.10		332	2.30	16	48	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2		製品資材	
101	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ8	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	103	スギ	中	疎	列間(簡標)	50	標準地(簡標)	0.32	0.05		45	0.24	16	48	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
102	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ9	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	40	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(兼用)	1.21			49	0.11	16	28	否	否	否	否	否				水涵保	141る兼用			製品資材	
103	幸生	国有林	清水山外1.1	141ろ10	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	41	スギ	中	密																								

収獲調査委託箇所の概要

番号	森林事務所	林名区分	国有林名等	林小班	機能類型	施業群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域面積(ha)	採帯面積(ha)	立木調査面積(ha)	調査材積(m ³)	区域標示距離(km)	通廊距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	抽出関係調査の要否	更新関係調査の要否	蓄積把握の要否	実測作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	品質区分(地上型3Dレーザ計測)	調査区分(地上型3Dレーザ計測)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別
113	幸生	国有林	清水山外1	141わ2	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	95	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.74		0.05	229	0.28	16	28	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	黒森山道141た林小班付近まで通行可能	製品資材	
114	幸生	国有林	清水山外1	141つ	水源涵養タイプ	アケマツ	人工林	99	アカマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.68		0.10	696	0.91	16	32	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2	黒森山道141た林小班付近まで通行可能	製品資材	
115	幸生	国有林	清水山外1	141な	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	61	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.50		0.05	137	0.47	16	28	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	黒森山道141た林小班付近まで通行可能	製品資材	
116	幸生	国有林	清水山外1	141は	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	60	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.00		0.05	158	0.12	16	33	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	黒森山道141た林小班付近まで通行可能	製品資材	
117	幸生	国有林	清水山外1	141う	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	59	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.53		0.05	47	0.20	16	34	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	黒森山道141た林小班付近まで通行可能	製品資材	
118	幸生	国有林	清水山外1	141う1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	60	カラマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.85			80	0.33	16	39	否	否	否	否	要				水涵保	141う費用		黒森山道141た林小班付近まで通行可能	製品資材	
119	上山	国有林	俵山外1	266ろ	森林空間利用タイプ		人工林	67	カラマツ	緩	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.92		0.05	83	0.48	27	22	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
120	上山	国有林	俵山外1	266わ	森林空間利用タイプ		人工林	69	スギ	緩	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.59		0.05	61	0.51	27	21	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
121	上山	国有林	俵山外1	266わ1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	69	カラマツ	緩	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	0.71		0.05	188	0.51	27	23	否	否	否	否	要	0.51			水涵保		1		製品資材	
122	上山	国有林	俵山外1	266か	森林空間利用タイプ		人工林	69	カラマツ	緩	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.47		0.05	34	0.34	27	27	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
123	上山	国有林	俵山外1	266よ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	70	スギ	緩	疎	皆伐	100	標準地(簡標又は3Dレーザ)	1.69		0.05	487	0.91	27	51	否	否	否	否	要	0.82	あり(全木)	現地調査	水涵保		1		製品資材	
124	上山	国有林	俵山外1	266た	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.67		0.05	98	0.71	26	9	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1		製品資材	
125	上山	国有林	俵山外1	266た1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.88			40	0.50	26	15	否	否	否	否	要				水涵保	266た費用			製品資材	
126	上山	国有林	虚空蔵外4	267い1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	49	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.99		0.05	222	0.55	27	7	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
127	上山	国有林	虚空蔵外4	267い2	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.84			97	0.24	27	18	否	否	否	否	要				水涵保	267い1費用		片倉山道通行可能	製品資材	
128	上山	国有林	虚空蔵外4	267い3	山地災害防止タイプ(十)		人工林	50	アカマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.50		0.05	174	0.14	27	15	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
129	上山	国有林	虚空蔵外4	267い4	山地災害防止タイプ(十)		人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.00		0.05	124	0.09	27	7	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
130	上山	国有林	虚空蔵外4	267い5	山地災害防止タイプ(十)		人工林	49	アカマツ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.53			57	0.03	27	5	否	否	否	否	要				水涵保	267い3費用		片倉山道通行可能	製品資材	
131	上山	国有林	虚空蔵外4	267ろ	山地災害防止タイプ(十)		人工林	87	スギ	緩	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.17		0.05	9	0.31	27	3	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
132	上山	国有林	虚空蔵外4	267に	山地災害防止タイプ(十)		人工林	72	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.40		0.05	76	0.31	27	14	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
133	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ	山地災害防止タイプ(十)		人工林	52	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.48		0.05	271	0.25	27	3	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
134	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ1	山地災害防止タイプ(十)		人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.63			76	0.16	27	8	否	否	否	否	要				水涵保	267ほ費用		片倉山道通行可能	製品資材	
135	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ2	山地災害防止タイプ(十)		人工林	53	アカマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.95			123	0.20	27	12	否	否	否	否	要				水涵保	267ほ4費用		片倉山道通行可能	製品資材	
136	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ3	山地災害防止タイプ(十)		人工林	56	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.30			766	0.37	27	17	否	否	否	否	要				水涵保	267ほ費用		片倉山道通行可能	製品資材	
137	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ4	山地災害防止タイプ(十)		人工林	55	アカマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.47		0.05	210	0.09	27	33	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
138	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ5	山地災害防止タイプ(十)		人工林	56	アカマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.14			170	0.00	27	33	否	否	否	否	要				水涵保	267ほ4費用		片倉山道通行可能	製品資材	
139	上山	国有林	虚空蔵外4	267ほ6	山地災害防止タイプ(十)		人工林	57	アカマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.00			240	0.28	27	19	否	否	否	否	要				水涵保	267ほ4費用		片倉山道通行可能	製品資材	
140	上山	国有林	虚空蔵外4	267へ	山地災害防止タイプ(十)		人工林	87	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.92		0.05	237	0.52	27	15	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
141	上山	国有林	虚空蔵外4	267へ1	山地災害防止タイプ(十)		人工林	87	スギ	中	疎	複層伐(帯・群)	50	標準地(簡標)	0.20	0.10	0.05	36	0.26	27	4	否	否	否	否	要	0.26			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
142	上山	国有林	虚空蔵外4	267と	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	75	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.89		0.10	464	0.58	27	24	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2	片倉山道通行可能	製品資材	
143	上山	国有林	虚空蔵外4	267と1	水源涵養タイプ	植栽型複層林	人工林	38	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.71			27	0.00	27	20	否	否	否	否	要				水涵保	267り費用		片倉山道通行可能	製品資材	
144	上山	国有林	虚空蔵外4	267ち	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.72		0.05	81	0.22	27	23	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
145	上山	国有林	虚空蔵外4	267り	水源涵養タイプ	植栽型複層林	人工林	39	スギ	緩	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.96		0.10	545	1.55	27	16	否	否	否	否	要	0.18			水涵保		2	片倉山道通行可能	製品資材	
146	上山	国有林	虚空蔵外4	267か	山地災害防止タイプ(十)		人工林	77	カラマツ	緩	疎	複層伐(帯・群)	50	標準地(簡標)	0.50	0.25	0.05	118	0.56	27	6	否	否	否	否	要	0.56			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
147	上山	国有林	虚空蔵外4	267よ	山地災害防止タイプ(十)		人工林	41	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.10		0.05	50	0.62	27	9	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	片倉山道通行可能	製品資材	
148	村山	国有林	黒崎外1	1007ろ1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	42	スギ	緩	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.08		0.05	1	0.25	22	6	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	榑石林道通行可能(民地迂回路含む)	製品資材	
149	村山	国有林	黒崎外1	1007ろ2	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	98	スギ	緩	疎	列間(簡標)	50	標準地(簡標)	0.13		0.05	15	0.27	22	3	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	榑石林道通行可能(民地迂回路含む)	製品資材	
150	村山	国有林	黒崎外1	1007は	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	55	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.77		0.05	234	0.87	22	8	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	榑石林道通行可能(民地迂回路含む)	製品資材	
151	村山	国有林	黒崎外1	1007は1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	52	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.18			22	0.19	22	9	否	否	否	否	要				水涵保	1007は費用		榑石林道通行可能(民地迂回路含む)	製品資材	
152	村山	国有林	黒崎外1	1007は	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	61	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.17		0.05	171	0.84	26	13	否	否	否	否	要	0.09			水涵保		1	榑石林道通行可能(民地迂回路含む)	製品資材	
153	村山	国有林	黒崎外1	1007へ</																															

収獲調査委託箇所の概要

番号	森林事務所	林名区分	国有林名等	林小班	機能類型	施策群	人天別	林齢	代表樹種	林地 傾斜	下層 植生	伐採方法	伐採 率 (%)	調査方法	調査区域 面積 (ha)	伐採 帯 積 積 (ha)	立木調査 面積 (ha)	調査材積 (m ³)	区域標示 距離 (km)	通勤 距離 (km)	歩行 時間 (分)	押印の 要 否	抽出開 係調査 の要否	更新開 係調査 の要否	蓄積 把握の 要 否	実測 作業の 要 否	コンパス 実測距離 (km)	GNSS又はコ ンパス 計測距離 (km)	品質区分 (地上型3D レーザ計測)	調査区分 (地上型3D レーザ計測)	法令関係	その他	標準地 設定 箇所数	林道通行状況	立製別
169	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036こ2	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	68	他L	中	疎	複層伐(天)	50	標準地(簡標)	4.00		0.10	596	2.46	44	69	否	否	否	否	要	0.18				水涵保	2	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
170	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036て1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	75	カラマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	6.01		0.15	408	1.18	44	25	否	否	否	否	要	0.27				水涵保	3	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
171	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036て2	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	64	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	0.34		0.05	148	0.31	44	31	否	否	否	否	要	0.31				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
172	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036て3	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	64	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	0.31			133	0.24	44	31	否	否	否	否	要	0.24				水涵保	1036て2襲用	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
173	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036あ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	57	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(襲用)	1.38			155	0.29	44	51	否	否	否	否	否					水涵保	1036あ1襲用	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
174	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036あ1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	58	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.25		0.05	214	0.53	44	40	否	否	否	否	要	0.09				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
175	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036さ	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	43	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(襲用)	2.03			89	0.26	44	28	否	否	否	否	否					水涵保	1036さ7襲用	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
176	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036さ2	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	53	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(襲用)	1.23			131	0.78	44	20	否	否	否	否	否					水涵保	1036さ7襲用	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
177	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036き7	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	45	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	7.85		0.20	404	1.13	44	57	否	否	否	否	要	0.36				水涵保	4	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
178	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036め	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	66	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.40		0.10	372	1.51	44	21	否	否	否	否	要	0.18				水涵保	2	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
179	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036め1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	77	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.48		0.05	200	0.67	44	51	否	否	否	否	要	0.09				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
180	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036め3	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	77	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	2.40		0.05	1,373	0.84	44	13	否	否	否	否	要	0.84				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
181	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036み	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	75	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(襲用)	1.20			348	0.36	44	10	否	否	否	否	否					水涵保	1036め襲用	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
182	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036み1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	41	スギ	平	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.17		0.05	1	0.20	44	9	否	否	否	否	要	0.09				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
183	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	10361	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ長伐期	人工林	67	スギ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.55		0.05	50	0.74	45	7	否	否	否	否	要	0.09				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
184	村山	国有林	藩ヶ沢外4.3	1036し1	水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.38		0.05	27	0.46	45	10	否	否	否	否	要	0.09				水涵保	1	鉛山林道工事のため調査時期は 監督員と要調整	製品資材	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	428.08	1.19	42.15	58,479	120.98	-	-	-	-	-	-	-	47.00	-	-	-	-	-	-	-	